

10 シーリング (3.1.4) (3.7.2~8)

シーリング 改修工法の種類

- シーリング 充填工法
シーリング 再充填工法
拡張シーリング 再充填工法
ブッシング工法
ボンドブリーダー張り
エッジング材張り

シーリング材の種類、施工箇所

下記以外は(表3.7.1)による

Table with columns: 施工箇所, シーリング材の種類(記号), MS-2

仕上げを行わない施工箇所

- シーリング材の目地寸法
目地寸法
打継ぎ目地
ひび割れ誘発目地
ガラス回り目地
その他の箇所
目地位置

シーリング材の試験

- 簡易接着性試験
引張接着性試験

11 とい (3.8.2, 3) (表3.8.1)

- 配管用鋼管
表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)
とい受金物

材料
改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

- 形状
市販品(とい径100以下)
25mm以上(とい径100を超えるもの)
取付け間隔
改修標準仕様書3.8.2による

足金物
材料
改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

- 形状
市販品
取付け間隔
改修標準仕様書3.8.2による
多雪地域の適用
防露材の取付け放散量
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
鋼管製といの防露巻き

ルーフトレンの種類及び呼び

Table with columns: 種類, 呼び, 施工箇所

たてとい受金物の取付け

- ルーフトレンの取付け

12 アルミニウム製笠木 (3.9.2, 3)

- 種類
オープン形式
板材折曲げ形
表面処理
既存笠木等の撤去
下地補修の工法
板材折曲げ形の笠木の取付方法
笠木の固定金具の工法等

4章 外壁改修工事(共通事項・材料)

1 施工数量調査 (1.6.2, 3)

- 調査範囲
調査内容
ひび割れ
浮き
剥離・剥落
塗り仕上げ
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
調査報告書の部数
報告書の内容

4-1章 外壁改修工事(コンクリート打直し仕上げ外壁改修)

1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.4~8)

Table with columns: 工法の種類, ひび割れ幅(mm), 注入口間隔(mm), 注入量(ml/m)

注入状況の確認方法
抜き取り個数
抜き取り部の補修方法

- ウレタン系材充填工法
シーリング材
可とう性ポブ樹脂
シーリング工法

2 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.4, 7)

- 鉄筋等の防錆処理
充填工法

4-2章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)

1 既存モルタル塗りの撤去 (4.1.4) (4.3.5~8)

- 行う
撤去後の処理

2 ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.3.5~8)

- 既存モルタル塗りの撤去
樹脂注入工法

Table with columns: 工法の種類, ひび割れ幅(mm), 注入口間隔(mm), 注入量(ml/m)

注入状況の確認方法
抜き取り個数
抜き取り部の補修方法

- ウレタン系材充填工法
シーリング材
可とう性ポブ樹脂
シーリング工法

3 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.9, 10)

- 鉄筋等の防錆処理
充填工法
モルタル塗替え工法
現場調査材料
既調合材料
既製目地材

4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11~16)

Table with columns: 工法の種類, アフォービンの本数, 注入口の箇所数, 注入量

アフォービンの材質
注入口付アフォービンの材質
注入口付アフォービンの材質

Table with columns: 注入口付アフォービンの材質, 注入口付アフォービンの材質

- 充填工法用材料
モルタル塗替え工法用材料
既製目地材

4-3章 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁改修)

1 既存タイル張りの撤去 (4.1.4) (4.4.5, 7, 8)

- 行う
撤去範囲

撤去後の処理
「4-1.1ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。
「4-2.2ひび割れ部改修工法」の後、「4-3.3欠損部改修」を行う。

タイルの形状、寸法

Table with columns: 施工箇所, 種類, 形状/寸法, 再生材の適用, 吸水率による区分, うわぐすり, 役物, 色, 耐凍害性, 備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
試験張り

2 ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.4.5, 7, 8)

樹脂注入工法

Table with columns: 工法の種類, ひび割れ幅(mm), 注入口間隔(mm), 注入量(ml/m)

注入状況の確認方法
抜き取り個数
抜き取り部の補修方法

3 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.5, 7, 8)

- 1か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える場合の工法

- タイル部分張替え工法
接着剤の種類
タイル張替え工法
張替え用材料
接着剤
張付けモルタル

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

- 改修標準仕様書表4.4.2による
外装タイル張り下地等の下地調整材塗りの接着剤試験

セメント系によるタイル張り

- 下地調整材塗りをを行うコンクリート素地の処理
目荒らし工法

タイル張りの工法

- 外装タイル
ユニットタイル
シーリング

有機系接着剤によるタイル張り

- 下地調整材塗りをを行うコンクリート素地の処理
目荒らし工法

シーリング材の種類

- 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
伸縮調整目地その他の目地
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.5.9~15)

Table with columns: 工法の種類, アフォービンの本数, 注入口の箇所数, 注入量

アフォービンの材質
注入口付アフォービンの材質
注入口付アフォービンの材質

- 充填工法用材料
モルタル塗替え工法用材料
既製目地材

セメント系によるタイル張り

- 下地調整材塗りをを行うコンクリート素地の処理
目荒らし工法
外装タイル
ユニットタイル

有機系接着剤によるタイル張り

- 目荒らし工法
伸縮調整目地その他の目地
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.16)

- 目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法

4-4章 外壁改修工事(塗り仕上げ外壁改修)

1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (4.1.5) (4.5.2)

- 下地調整

2 下地調整塗材 (4.1.5) (4.5.2) (表4.5.1)

3 仕上塗材仕上げ (4.1.5) (4.5.2) (表4.5.1)

薄付け仕上塗材

Table with columns: 種類(呼び名), 仕上げの形状, 工法, 防火材料

厚付け仕上塗材

Table with columns: 種類(呼び名), 仕上げの形状, 工法, 上塗り, 防火材料

複層仕上塗材

Table with columns: 種類(呼び名), 仕上げの形状, 工法, 上塗材の種類, 耐火性, 防火材料

可とう形改修仕上塗材

Table with columns: 種類(呼び名), 仕上げの形状, 工法, 上塗材の種類, 耐火性, 防火材料

4 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2) (表4.6.1)

5 外壁用塗膜防水塗り (4.1.5) (4.7.2, 3) (表4.7.1)

- 仕上げの形状
工法
仕上塗材の耐火性
下地準動線材の適用

- コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修)による
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)による

- 吹付け工法の模様材の種類
外壁用仕上塗材の種類
既存塗膜の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(塗り仕上げ外壁改修)による

5章 建具改修工事 (5.1.3)

Table with 4 columns: 建具の種類, かんせ工法, 撤去工法, 適用箇所. Lists types like アルミ製建具, 樹脂製建具, 鋼製建具, etc.

新規に建具を設置する場合
壁部分の開口の開け方
新規建具周囲の補修工法及び範囲
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章防水改修工事による

2 防火戸 (5.1.4)
指定する 適用箇所 (建具表による)
指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び「ス」装置、熱感知器又は煙感知器との連動
連動させる (建具表による)
連動させない

3 見本の製作等 (5.1.5)
建具見本の製作 建具符号：
建具見本の目的等
工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 建具符号：

4 防犯建物部品 (5.1.7)
適用する (建具表による)
適用しない

5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.2)
性能値等
耐風圧性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
気密性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
水密性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
外部に面する建具の種類
A種 (建具符号 建具表による)
B種 (建具符号 建具表による)
C種 (建具符号 建具表による)
枠の見込み寸法
(建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
材料
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種類 BB-1 BB-2(改修標準仕様書5.2.2)
着色 標準色 特注色
屋内の建具
種類 BC-1 BC-2(改修標準仕様書5.2.2)
着色 標準色 特注色
結露水の処理方法
水貯め式 排水式
工法
水切り板、ぜん板 ※ 図示による

Table with 4 columns: 種類, 材種, 線径, 網目. Lists types like 防虫網, 防鳥網.

6 樹脂製建具 (5.2.2)(5.3.2~5)
性能値等
耐風圧性の等級 ()
気密性の等級 ()
水密性の等級 ()
外部に面する建具の種類
A種 (建具符号 建具表による)
B種 (建具符号 建具表による)
C種 (建具符号 建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (T-1 T-2)
(建具符号 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (H-4 H-5 H-6 H-7 H-8)
(建具符号 建具表による)
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法
建具表による
材料
ガラス ※ 複層ガラス
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
表面色 標準色 特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※ 図示による

7 鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~4)(表5.4.2)

性能値等
簡易気密型ドアレット
適用する (建具符号 建具表による)
適用しない
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
耐風圧性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
遮音性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.2による mm
標準型鋼製建具の形式及び寸法
建具表による

8 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~4)
性能値等
簡易気密型ドアレット
適用する (建具符号 建具表による)
適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
鋼板の種類 ※ 亜鉛めっき鋼板、ヒート被覆鋼板、チー鋼板、ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ(mm)
改修標準仕様書5.5.1による
mm 使用箇所 ()
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
建具表による

9 ステンレス製建具 (5.2.2)(5.4.2)(5.6.2~5)
性能値等
簡易気密型ドアレット
適用する (適用箇所 ※ 図示)
適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
遮音性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 ()
(建具符号 建具表による)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ HL
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※ HL 鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ 角出し曲げ

10 木製建具 (5.7.2~4)
建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種
建物内部の木製建具に使用する接着剤のVOC放散量 ※ F☆☆☆☆

Table with 3 columns: 合板の種類, 規格等, 備考. Lists types like 普通合板[G], 天然木化粧合板[G], etc.

表面板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.7.6による
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
かまち戸 樹種 () 鏡板樹種 ()
見込み寸法 ※ 36mm 建具表による
ふすま 張りの種別 (I形 II型)
上張り(押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はヒノキ程度
緑仕上 ※ 塗り緑 生地緑(素地) 生地緑(カクヤリ塗り)
見込み寸法 ※ 19.5mm 建具表による
戸ふすま 表面板の仕上げ ※ 建具表による
見込み寸法 ※ 30mm 建具表による
紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm 建具表による
枠、くつずりの材料
建具表による

11 建具用金物 (5.8.2, 3)

金物の種類・見え掛り部の材質等 ※ 改修標準仕様書5.8.1による
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.2による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール ※ 改修標準仕様書5.8.5による
握り玉、レバーハンドル、押板類、ハンドル取付位置 ※ 別表による
錠前類 【シリンダ箱錠及びリフト錠】 ※ 別表による
ノブ類 ※ 別表による

12 鍵 (5.8.4)
マスターキー 製作する 既存のマスターキーに合わせる 製作しない
その他の鍵の製作本数 ※ 3本1組
鍵箱 有 無

13 自動ドア開閉装置 (5.9.2, 3)
戸の開閉方式
建具表による
引き戸用駆動装置
性能値
改修標準仕様書5.9.1による (防錆の適用)
以下による
種類・開閉方式 ()
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性(イイイ) ()
防錆 ()
電源 ()
多機能仕出入口引き戸用駆動装置
性能値
改修標準仕様書5.9.2による (防錆の適用)
以下による
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性(イイイ) ()
防錆 ()
電源 ()
引き戸用検出装置
性能値
改修標準仕様書5.9.3による (防錆の適用)
以下による
耐電圧 ()
温度上昇 ()
防錆 ()
電源 ()

引き戸用検出装置の種類
建具表による
タッチスイッチの種類
無線式タッチスイッチ
光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所スイッチの種類
大形押しボタンスイッチ
非接触スイッチ
凍結防止措置
行う 行わない

14 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)
性能値等
改修標準仕様書表 5.10.1 による
以下による ()
手動開き力 ()
手動閉じ力 ()
閉じ速度の調整 ()
制御区間 ()
開閉繰返し ()
耐衝撃性 ()

15 重量シャッター (5.11.2, 3)
シャッターの種類
管理用シャッター
外壁用防火シャッター
屋内用防火シャッター
防護シャッター
外壁開口部に設置する重量シャッターの耐風圧強度 () Pa
開閉方式の種類
上部電動式(手動併用)
手動式
安全装置
電動シャッターの急降下停止装置、急降下制動装置 (設置箇所 建具表による)
電動シャッターの障害物感知装置
設ける (設置箇所 建具表による)
設けない (設置箇所 建具表による)
屋内用防火シャッター若しくは防護シャッターの危害防止機構
設ける (設置箇所 建具表による)
設けない (設置箇所 建具表による)
管理用シャッターのシャッターケース
設ける 設けない
スラット及びシャッター用鋼板
鋼板の種類
JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
めっきの付着量
Z12またはF12
鋼板の厚さ
2.0mm

シャッターの形状
シャッターの形状 ※ シャッターの形状
シャッターの形状 ※ シャッターの形状

16 軽量シャッター (5.12.2~4)
開閉方式の種類 ※ 手動式 電動式(手動併用)
耐風圧強度() Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 建具表による)
スラットの材質の種類
JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※ Z06またはF06
JIS G 3322(塗装溶融55%亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※ AZ90
スラットの形状
シャッターの形状 ※ シャッターの形状

17 オーバーヘッドドア (5.13.2, 3)

Table with 5 columns: セリオン材料による区分, 耐風圧性能の区分, 開閉方式による区分, 収納形式による区分, ガイドレールの材料. Lists types like スタータイプ, アルミタイプ, etc.

18 ガラス (5.14.2~4)
フロントガラスの品厚及び厚さの呼びによる種類 ※ 建具表による
型板ガラスの厚さによる種類 ※ 建具表による
網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※ 建具表による

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ※ 建具表による
落球衝撃はく離特性並びにショットペック衝撃特性による種類
I類 II-1類 II-2類 III類
強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※ 建具表による
破片の状態及びショットペック衝撃特性による種類 I類 III類
熱線吸収ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※ 建具表による
性能による種類 I類 II類
複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 建具表による
断熱性による区分 T1 T2 T3 T4 T5 T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分 G S
乾燥気体の種類 空気 7%コン
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 建具表による
日射遮蔽性による区分 1種 2種 3種
耐久性による区分(日射遮蔽性による区分が2種の場合) A類 B類
倍強化ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 建具表による

Table with 3 columns: ガラスの留め材及び溝の大きさ, 建具の種類, ガラス留め材, ガラス溝の大きさ(mm). Lists types like シーリング材, グレーンダウニング.

19 ガラスブロック (5.14.5)

Table with 6 columns: 呼び寸法(mm), 厚さ(mm), 色調, 目地幅(mm), 伸縮調整目地位置(mm), 防火性能. Lists types like 160x160, 200x200.

20 ガラス用フィルム
種類
日射調整フィルム[G]
低放射フィルム
衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム
相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム
ガラス貫通防止フィルム
品質 JIS A 5759による。

6章 内装改修工事

1 改修範囲 (6.1.3)
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
図示

2 既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)
ビニル床シート等の除去
※ 仕上材のみ(接着剤とも)
※ 下地も取り除く(図示)
除去範囲全て
合成樹脂塗床材の除去
※ 機械的除去工法
※ 目荒し工法
既存のフローリング又はビニル床の下地処理に用いる「リサーチ」及び「ビニル樹脂」は、4章外装改修工事による改修後の床の清掃
※ 図示

3 既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2)
間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修
※ 改修標準仕様書4.3.10による処理塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理)
※ 図示

4 施工一般 (6.5.2)
材料の保管
※ F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(f)(h)による

5 製材[G] (6.5.2)
県内産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県内産・市販品
報告：静岡県産材証明制度の「県産材販売管理票」により報告すること
合法的に生産された木材を使用すること
報告：木材・木製品の合法性、持続可能性の証明のための「イノ」(平成18年2月15日林野庁作成)に準拠した証明書により報告すること
造作材の材面の品質の基準
※ A種
※ B種

Table with 7 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法(mm), 等級, 形状, 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用. Includes JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法(mm), 等級, 形状, 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用. Includes JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法(mm), 等級, 形状, 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用. Includes JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 寸法(mm), 材面の品質, 防虫処理, 含水率, 間伐材等の適用. Includes JAS 1083(製材)以外の製材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 寸法(mm), 材面の品質, 防虫処理, 含水率, 間伐材等の適用. Includes JAS 1083(製材)以外の製材 (continued).

6 造作用集成材[G]
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施工箇所 品名 樹種 寸法(mm) 見付け材面数 見付け材面の品質 間伐材等の適用
※ 1等
※ 2等
※ 1等
※ 2等
※ 1等
※ 2等
県産木材の適用
※ 適用する
※ 適用しない

Table with 7 columns: 施工箇所, 品名, 樹種, 寸法(mm), 化粧薄板の厚さ(mm), 見付け材面数, 見付け材面の品質, 間伐材等の適用. Includes 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 品名, 樹種, 寸法(mm), 化粧薄板の厚さ(mm), 見付け材面数, 見付け材面の品質, 間伐材等の適用. Includes 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 (continued).

Table with 7 columns: 施工箇所, 品名, 樹種, 寸法(mm), 化粧薄板の厚さ(mm), 見付け材面数, 見付け材面の品質, 間伐材等の適用. Includes 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 (continued).

Table with 7 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法(mm), 見付け材面の品質, 含水率, 間伐材等の適用. Includes 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法(mm), 化粧薄板の厚さ(mm), 見付け材面の品質, 含水率, 間伐材等の適用. Includes 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 樹種, 寸法(mm), 化粧薄板の厚さ(mm), 見付け材面の品質, 含水率, 間伐材等の適用. Includes 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 (continued).

Table with 7 columns: 施工箇所, 品名, 寸法(mm), 表面の品質, 防虫処理, 間伐材等の適用. Includes 7 造作用単板積層材[G].

Table with 7 columns: 施工箇所, 品名, 寸法(mm), 表面の品質, 含水率, 防虫処理, 間伐材等の適用. Includes JAS 0701以外の造作用単板積層材.

Table with 7 columns: 施工箇所, 品名, 強度等級, 種別, 接着性能(使用環境), 樹種, 寸法(mm), 間伐材等の適用. Includes JAS 3079に基づく直交集成材[G].

Table with 7 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 単板の樹種名, 接着の程度, 板面の品質, 防虫処理, 難燃処理, 防蟻処理, 間伐材等の適用. Includes 8 合板等.

Table with 7 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 単板の樹種名, 接着の程度, 板面の品質, 防虫処理, 難燃処理, 防蟻処理, 間伐材等の適用. Includes 「合板の日本農林規格」による構造用合板[G].

Table with 7 columns: 施工箇所, 等級, 単板の樹種名, 接着の程度, 板面の品質, 厚さ(mm), 防虫処理, 強度等級, 防虫処理, 間伐材等の適用. Includes 「合板の日本農林規格」による構造用合板[G] (continued).

Table with 7 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 単板の樹種名, 接着の程度, 防虫処理, 間伐材等の適用. Includes 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G].

Table with 7 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 化粧板に使用する単板の樹種名, 接着の程度, 防虫処理. Includes 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G].

Table with 7 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 化粧板に使用する単板の樹種名, 接着の程度, 防虫処理. Includes 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G] (continued).

Table with 7 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 接着の程度, 表面性能, 化粧加工の方法, 防虫処理. Includes 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G].

Table with 7 columns: 施工箇所, 表面の状況による区分, 曲げ強さによる区分, 耐水性による区分, 難燃性による区分, 厚さ(mm). Includes 「パーティクルボード」[G].

Table with 7 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 化粧板に使用する単板の樹種名, 接着の程度, 防虫処理. Includes JAS 0360に基づく構造用パーティクルボード[G].

Table with 6 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 表裏面による区分, 曲げ強さによる区分, 接着剤による区分, 難燃性による区分. Includes MDF[G].

9 接合具等 (6.5.3)
造作材の化粧面の釘打ち
※ 隠し釘打ち
※ 釘頭埋め木
※ つぶし頭釘打ち
※ 釘頭現し
※ かつぎ、座金、箱金物、短冊金物
※ (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)
(形状: 寸法: 材質:)

10 接着剤 (6.5.3, 4)
接着剤の保管
※ F☆☆☆☆
※ 60
※ 75
※ 100

Table with 2 columns: 適用部材, 処理の方法. Includes 11 防蟻・防蟻処理.

Table with 2 columns: 適用部材, 薬剤の種類. Includes 12 内部間仕切軸組及び床組み.

12 内部間仕切軸組及び床組み (6.5.6)
間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※ 杉又は松
※ 杉又は松
床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※ 杉又は松

13 窓、出入り口その他 (6.5.7)
窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※ 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

14 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4)
特定天井
※ 有(仕様、位置は図示による)
※ 適用しない
野縁等の種類
※ 25形
※ 19形
※ 19形
※ 25形

15 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3, 4)(表6.7.1)
スラット、ラナーの種類
※ 改修標準仕様書表6.7.1によるスラットの高さによる区分に応じた種類
スラットの高さが5mを超える場合
※ 図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※ 改修標準仕様書6.7.4(5)による
※ 図示

Table with 4 columns: 種類の記号, 色柄, 厚さ(mm), 備考. Includes 16 ビニル床シート[G].

Table with 4 columns: 種類の記号, 色柄, 寸法(mm), 厚さ(mm), 備考. Includes 17 ビニル床タイル張り[G].

18 特殊機能床 (6.8.2)
※ 帯電防止床シート
※ 帯電防止床タイル
※ 視覚障害者用床タイル
※ 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
※ 耐動荷重性床シート
※ 防滑性床シート
※ 防滑性床タイル

19 ビニル幅木 (6.8.2)
材質
※ 硬質
※ 軟質
※ 60
※ 75
※ 100
※ 1.5mm以上

20 ゴム床タイル (6.8.2)
種類
※ 単層品
※ 積層品
色柄
厚さ(mm)
※ 3.0
※ 4.5
※ 6.0
※ 9.0
寸法(mm)

21 カーペット敷き (6.9.2, 3)(表6.9.1)
※ 織りゅうたん
織り方
※ 織りゅうたん
※ フォトリノット
※ グラフエクスプレッソ
※ フォトリノット

Table with 4 columns: 形状, 長さ(mm), 工法, 帯電性, 備考. Includes カーペット敷き (continued).

Table with 4 columns: 形状, 長さ(mm), 工法, 帯電性, 備考. Includes カーペット敷き (continued).

Table with 4 columns: 形状, 長さ(mm), 工法, 帯電性, 備考. Includes カーペット敷き (continued).

Table with 4 columns: 形状, 長さ(mm), 工法, 帯電性, 備考. Includes カーペット敷き (continued).

Table with 4 columns: 種類の記号, 施工箇所, 工法, 仕上の種類. Includes 22 合成樹脂塗床.

23 フローリング張り (6.11.2~6)
フローリングの保管
※ 改修標準仕様書6.11.2(2)による
各工法に使用する接着剤の保管
※ F☆☆☆☆

24 畳敷き (6.12.2)
種類
※ A種
※ B種
※ C種
※ D種(畳床KT- I II III K N)
下地の種類
※ スクエアフロー床下地(フローリング)

畳敷き (continued)
畳表及び畳床は「イノ」及び「スチン」を発生しないか、発散がきわめて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳
畳表
※ C1
※ C2

25 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2、3)

Table with columns for material types (種類等), thickness/specifications (厚さ(mm)、規格等), and fire resistance (防火種別). Includes items like 木毛セメント板, 木片セメント板, etc.

Table with columns for material types (種類等), thickness/specifications (厚さ(mm)、規格等), and fire resistance (防火種別). Includes items like 普通合板, 天然木化粧合板, etc.

天井のボード類(ウツク吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※ 図示による合板類の張付け A種 ※ B種

Table with columns for construction site (施工箇所), wall paper types (壁紙の種類), and fire resistance (防火種別). Includes items like 紙, 繊維, etc.

27 モルタル塗り (6.15.3、5、6)
モルタル
現場調査材料
既製目地材 (施工箇所)

28 タイル張り (6.16.2~4)

伸縮目地の位置
床タイル (※ 縦、横とも4m以内にと 図示)
床タイル以外 (図示)

Table with columns for construction site (施工箇所), type (種類), shape/specification (形状寸法), and fire resistance (防火種別).

標準的な曲りの役物は一体成形とする
既製調合モルタルは別表による

Table with columns for construction site (施工箇所), type (種類), shape/specification (形状寸法), and fire resistance (防火種別).

Table with columns for construction site (施工箇所), type (種類), shape/specification (形状寸法), and fire resistance (防火種別).

29 セルフレベリング材塗り (6.17.2、3)

7章 塗装改修工事 (7.1.3)
材料
屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆

2 下地調整 (7.2.1~7)
RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す

Table with columns for ground type (下地面の種類), adjustment type (下地調整の種別), and repair type (ひび割れ部の補修).

3 素地ごしらえ (7.3.2~7)

Table with columns for ground type (下地面等), type (種別), and fire resistance (防火種別).

4 錆止め塗料塗りの種別 (7.4.2、3)

Table with columns for surface type (素地面), coating type (塗装の種類), paint type (塗料の種別), and work type (工程の種別).

5 塗装 (7.5.2~7.13.2)

Table with columns for coating type (塗装の種類), surface (塗装面), work type (工程), and new type (新規).

高日射反射率塗料塗り [G]
下地調整(改修標準仕様書7.2.2)
RA種 ※ RB種 ※ RC種

Table with columns for work type (工程), specification number (規格番号), name (規格名称), type (種類), grade (等級), and application amount (塗付け量).

9章 環境配慮改修工事 (9.1.1、3~6)
1 石綿含有建材の除去工事
測定室 ()
成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

Table with columns for application (適用), measurement name (測定名称), measurement time (測定時期), measurement location (測定場所), measurement point (測定点), and remarks (備考).

石綿粉じん濃度測定方法
自動測定器による測定
測定名称 測定方法

Table with columns for measurement name (測定名称), measurement method (測定方法), and measurement result (測定値).

石綿含有建材の除去工事
測定室 ()
成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

Table with columns for measurement name (測定名称), measurement method (測定方法), and measurement result (測定値).

石綿含有建材の除去工事
測定室 ()
成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

Table with columns for measurement name (測定名称), measurement method (測定方法), and measurement result (測定値).

石綿含有建材の除去工事
測定室 ()
成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

石綿含有建材の処理

石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による

石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 図示

石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 図示

石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 図示

石綿含有仕上塗料又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
除去対象範囲 ※ 図示による
除去工法 ※ 図示

養生方法
除去工法の試験施工 ※ 図示
除去した石綿含有仕上塗料の処分 ※ 図示

2 石綿含有建材の除去工事に係る官庁等への届出
労働安全衛生法に基づく届出
石綿障害予防規則に基づく届出

3 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)
改修特記仕様書3章による

4 外断熱改修工事 [G] (9.2.1~4)
断熱材
種類 厚さ(mm)

Table with columns for material type (種類) and thickness (厚さ(mm)). Includes items like ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材, etc.

外装材
種類 防火性能 備考
鋼材 改修特記仕様書第8章8-3鉄骨工事 ※ 鋼材による

既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去 ※ あり ※ なし
下地の清掃 ※ 行う ※ 行わない

1章 適用区分による風圧力の (※ 1、1.15、1.3) 倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整

断熱材の施工 ※ 断熱材製造所の仕様による
外装材の施工 ※ 外装材製造所の仕様による

石綿含有建材の除去工事
測定室 ()
成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

5 断熱・防露改修工事[G] (9.3.2~4)

フォーム断熱材又は保温材、接着剤の放散量 ※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤の放散量 ※F☆☆☆☆

工法
断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
施工箇所

断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
吹付け厚さ(mm)
施工箇所

断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
断熱材にせっこうボード等を張り付けたベネ
材質
厚さ
張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法

6 屋上緑化改修工事[G] (9.4.2~4)

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の種類等
見切り材、舗装材、排水管、マルチ材等
(品質・性能・試験方法)別表による

工法
建築基準法に基づき定まる
かん水装置
既存保護層の撤去
新植した芝及び地被類の枯保障の期間

7 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2~5, 9)

適用範囲: 歩道
既存舗装の撤去及び再利用
路床

Table with 3 columns: 種類, 材料, 厚さ(mm). Rows include 盛土, 凍上抑制層, and フィラー層.

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験
行う
行わない

路床安定処理
安定処理の方法
路床安定処理用添加材料
種類
添加量
目標CBRを満足する添加量の確認方法
単位面積質量
厚さ(mm)
引張強さ
透水係数

試験
路床土の支持力比(CBR)試験
現場CBR試験
路床締固め度の試験

路盤
厚さ
材料
粒度調整砕石
再生クワックラン

舗装の構成
開度率70%の混合物等の抽出試験
舗装の平坦感性

10章 ユニット及びその他工事 (20.2.2)

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

Table with 6 columns: 施工箇所, 工法, 寸法(mm), 高さ(mm), 耐震性能, 所要荷重(N), 表面仕上材, 備考.

寸法精度
標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(c)による
以下による
ベネ長さの寸法精度
ベネの平面形状(角度)の寸法精度
テープヒコアの高さの寸法精度
帯電防止性能
感電防止性能

2 移動間仕切 (20.2.3)

Table with 5 columns: 構造形式による種類, 構成材料の種類, ベネ表面仕上げ, 遮音性(db/500Hz), 防火性能.

ベネ内に取付ける建具
あり
※ 図示
なし

ベネ内に取付ける家具のドア、丁番、錠前、上落げとしては、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
ベネ材料の放散量 ※F☆☆☆☆

3 移動間仕切 (20.2.4)

Table with 5 columns: 走行方向, 操作方法による種類, ベネ圧接装置の操作方法, 総厚さ(mm), ベネ表面材, 遮音性(db/500Hz).

ベネ表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ベネの取付け下地の補強
※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
※ 示
ベネを天井に取り付ける部品
※ 天井に加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの

ベネの取付け及びクランプ
※ 取付け全重量の5倍の荷重を、ベネ1枚に使用するクランプ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
(品質・性能は別表による)

4 トイレブース (20.2.5)

Table with 3 columns: 表面材の材料, 脚部種類, ドア/窓材.

※ 示
※ 示
※ 示
※ 示

5 手すり (20.2.6)

Table with 5 columns: 材料の種類及び仕上げ, 材料, 表面仕上げ, 直径(mm), 取付箇所, 備考.

手すりの握り部分
材料
表面仕上げ
直径(mm)
取付箇所
備考

6 階段滑り止め (20.2.7)

Table with 5 columns: 材料, 形状, 端部の形状, 寸法(幅), 取付け工法.

※ 示
※ 示
※ 示
※ 示

7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

Table with 3 columns: 黒板, 区分, 種類.

※ 示
※ 示
※ 示

8 鏡 (20.2.10)

Table with 3 columns: 取付箇所, 寸法(mm), 厚さ(mm).

※ 示
※ 示

9 表示 (20.2.11)

Table with 3 columns: 表示の種類, 設置場所, 形状・寸法, 材質.

※ 示
※ 示
※ 示

10 タラップ (20.2.12)

Table with 3 columns: 材質及び仕上げ, スリッパ止め加工, 鋼製 表面処理.

※ 示
※ 示
※ 示

11 煙突サイン (20.2.13)

Table with 3 columns: 適用安全使用温度, 工法.

※ 示
※ 示

12 ブラインド (20.2.14)

Table with 6 columns: 形式, 操作方法, 操作方法の種類, スラットの種類, スラット幅(mm), ボックス・レースの材質, 幅・高さ・取付箇所.

縦型ブラインドの材料
※ 示
※ 示
※ 示

13 ロールスクリーン (20.2.15)

Table with 5 columns: 操作方法, スクリーンの材質, その他の材料, 幅・高さ・取付箇所, 品質.

※ 示
※ 示
※ 示

14 カーテン (20.2.16)

Table with 5 columns: 形式, 開閉操作, ひだの種類, 生地の種類、品質、特殊加工等, 取付箇所, 備考.

生地仕様
消防法で定める防火性能の表示があるもの
※ 示
※ 示

15 カーテンレール (20.2.16)

Table with 3 columns: 材料による区分, 強さによる区分, 仕上げ形状.

※ 示
※ 示
※ 示

16 ブラインドボックス及びシャッターボックス (20.2.16)

Table with 3 columns: 溝深さ(mm), 材質, 仕上げ.

※ 示
※ 示
※ 示

17 天井点検口 (20.2.16)

Table with 5 columns: 材質, 寸法, 形式, 外枠, 内枠.

※ 示
※ 示
※ 示

18 床点検口 (20.2.16)

Table with 4 columns: 材質, 寸法, 形式, 備考.

※ 示
※ 示
※ 示

19 耐震リフト (20.2.16)

Table with 5 columns: 方向, 幅(mm), タイプ, 耐火性能, 防水性能, 備考.

※ 示
※ 示
※ 示

20 止水板 (20.2.16)

Table with 3 columns: 形式, 施工箇所.

※ 示
※ 示

21 エキスパンションジョイント金物 (20.2.16)

Table with 3 columns: 材質, 受け枠, 備考.

※ 示
※ 示
※ 示

22 流し台ユニット (20.2.16)

Table with 4 columns: 材質, 寸法(mm), W, D, H, 備考.

※ 示
※ 示
※ 示

24 旗竿 (20.2.16)

Table with 5 columns: 材質, 形式, 高さ(m), 操作方法, 固定方法, 備考.

25 旗竿受金物 (20.2.16)

Table with 4 columns: 形式, 材質, 柱径、肉厚(mm), 高さ(m).

26 フェンス (20.2.16)

Table with 5 columns: フェンスの種類, 形式, 材質, 柱径、肉厚(mm), 高さ(m).

27 プレキャストコンクリート (20.3.3) (20.3.4)

Table with 4 columns: コンクリートの設計基準強度, 水セメント比55%以下, 単位セメント量の最小値300kg/m3, 配筋.

29 間知石及びコンクリート間知石の積み (20.3.3) (20.3.4)

Table with 4 columns: 種類, 種類, 質量区分, 備考.

30 鋼製書架及び物品棚 (20.3.3) (20.3.4)

Table with 4 columns: 種類, 規格等, 品質区分, 備考.

31 屋内掲示板 (20.3.3) (20.3.4)

Table with 3 columns: 枠の材質, 表面の材質, 備考.

32 洗面カウンター (20.3.3) (20.3.4)

Table with 3 columns: 材質, 奥行き(mm), 備考.

33 防煙垂れ壁 (20.3.3) (20.3.4)

Table with 4 columns: 種類, 材質, 厚さ(mm), 高さ(mm), 備考.

34 屋外掲示板 (20.3.3) (20.3.4)

Table with 4 columns: 照明器具, 施錠, 製造所, 備考.

35 収納家具 (20.3.3) (20.3.4)

Table with 3 columns: 合板類、MDF及びベニヤ板の放散量, 材質、形状、寸法, 備考.

8章 耐震改修工事

1 適用範囲
改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事
改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分

2 既存部分の処理等
既存構造体の撤去
撤去範囲
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処理
既存構造体コンクリートの目荒しの程度

既存杭の撤去等
撤去範囲及び撤去方法
杭頭部の処理
既存杭の補強
既存杭の健全性を確認する試験

8-1 鉄筋工事

Table with 4 columns: 種類の記号, 呼び径 (mm), 備考. Lists SD295, SD345 with diameter requirements.

Table with 4 columns: 種類, 種類の記号, 鉄線の形状、網目、寸法、鉄線の径 (mm), 適用箇所. Lists 溶接金網, 鉄筋格子.

Table with 4 columns: 部位, 継手方法, 呼び径 (mm). Lists 柱、梁の主筋, 耐力壁の鉄筋, etc.

継手位置
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
耐力壁の重ね継手の長さ

4 鉄筋の定着
鉄筋の定着長さ
機械式定着工法
適用箇所
工法
必要定着長さ
補強筋形状
かぶり厚さ
品質確認
検査

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)
最小かぶり厚さ
軽量コンクリートを用いる場合
耐久性上不利な箇所がある場合

6 圧接完了後の試験
超音波探傷試験

7 機械式継手

適用箇所
性能 (H12建告第1463号に適合するもの)
種類
充填方式
端部ねじ加工継手
モルタル充填式継手
工法
品質相互のあき
品質の確認
検査
施工完了後の継手部の試験

8 溶接継手
適用箇所
性能 (H12建告第1463号に適合するもの)
溶接継手の工法
施工完了後の継手部の試験
試験対象
試験項目
試験方法

9 割製補強筋
形状
種類の記号
呼び径、曲げ直径、ピッチ

8-2 コンクリート工事

1 レディーミクストコンクリート工場
品質管理監督検査合格工場
2 コンクリート種類
コンクリートの種類
I 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
II 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

Table with 4 columns: 設計基準強度 (N/mm2), スランプ, 気乾単位容積質量 (t/m3), 適用箇所. Lists 24, 21 for design strength.

Table with 4 columns: 設計基準強度 (N/mm2), スランプ, 気乾単位容積質量 (t/m3), 種類, 適用箇所. Lists 21 for design strength.

4 セメント
種類
普通ポルトランドセメント, 高炉セメントA種, シリセメントA種

5 骨材
70μm以下の反応性による区分

6 混和材料
混和剤の種類
混和剤の種類

7 構造体用鉄板
圧縮強度
70μm値

8 量中コンクリート
構造体強度補正值 (S)

9 マスコンクリート

適用箇所
セメントの種類
中熱ポルトランドセメント, 低熱ポルトランドセメント, 高炉セメントB種
普通ポルトランドセメント, シリセメント
混和材
混和剤の種類
スランプ
構造体強度補正值

Table with 4 columns: 設計基準強度 (N/mm2), スランプ, セメントの種類, 適用箇所. Lists 18 for design strength.

11 流動化コンクリート
適用箇所

12 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地
打継ぎの位置
目地寸法
ひび割れ誘発目地の間隔、位置、形状、寸法

Table with 2 columns: 種別, 適用箇所. Lists A種, B種, C種.

Table with 2 columns: 種別, 適用箇所. Lists a種, b種, c種.

14 打増し厚さ(打直し仕上げ部)
打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)

15 型枠
せき板の材料及び厚さ
断熱材の兼用
MCR工法用シート
スラブの材種

16 型枠の加工及び組立
シロコシをベアラーとして使用

17 コンクリートの打込み工法等
コンクリート打設工法の種類

Table with 3 columns: 補強工事, 工法の種類, 適用箇所. Lists 現場打ちコンクリート壁の増設工事, 柱補強工事, etc.

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
補強後の仕上げ

8-3 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場
建築基準法に基づき性能評価を受けた製作工場

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者
配置する

3 鋼材

Table with 3 columns: 種類の記号, 適用箇所(主要な部分), 規格. Lists JIS規格による.

4 高力ボルト
ボルトの種類
ボルトの緑端距離、ボルトの間隔、ゲージ等
摩擦面の処理方法
すべり試験の実施

5 普通ボルト
ボルト及びナットの材料
ボルトの規格はJIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。

座金
ボルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト
ボルトの緑端距離、ボルトの間隔、ゲージ等
摩擦面の処理方法
すべり試験の実施

7 アンカーボルト
構造用アンカーボルト
建方用アンカーボルト

ボルトの呼び径及びワットのねじの公差域及び仕上げの程度
ボルトの緑端距離、ボルトの間隔、ゲージ等

8 溶接材料
溶接材料

Table with 3 columns: 呼び名, 呼び長さ (mm), 適用箇所. Lists 16, 19, 22.

10 製作精度
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] に加えて、次による
通しワットの突合せ継手の食い違いの寸法

11 仮組
仮組を行う範囲

12 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験
試験の要領

13 溶接施工
開先の形状
鋼製ワットを切断する部分
切断する箇所
切断範囲

14 入熱、パス間温度の溶接条件
鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件

15 溶接部の試験
平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法

16 錆止め塗装 [7.3.3] (8.17.2, 4)

塗料の範囲
 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 図示による
 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 改修標準仕様書8.17.2.1(1)~(4)による
 図示による

塗料の種類
 ・ 下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による
 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類
 ※A種
 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類
 ・

17 耐火被覆 (8.18.2~8)

種類、材料、工法等	種類	材料、工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
耐火材吹付け	-	乾式吹付けロックール	-	-
		半乾式吹付けロックール	-	-
		湿式ロックール	-	-
耐火板張り	-	繊維混入けい酸セメント板	-	-
		高断熱ロックール	-	-
耐火材巻付け	-	高断熱ロックール	-	-
		ラス張りモルタル塗り	-	-
耐火塗料	-	-	-	-

18 アンカーボルトの設置等 [7.10.3]

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 図示による
 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 図示による
 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 図示による
 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 A種 B種
 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 厚さ 種類 ※A種 B種

19 鉄骨ブレース設置後の仕上げ (8.22.9)

図示による

20 あと施工アンカー (8.2.4)

材料等
 ・ 金属系アンカー
 ・ 引張耐力 () kN 図示による
 ・ せん断耐力 () kN 図示による
 アンカー本体の径及び埋込み長さ 図示による
 セット方式 ※本体打込み式改良型
 接合筋の種類、径、長さ 図示による
 ・ 性能確認試験
 試験方法及び試験数 図示による

接着系アンカー
 ・ 引張耐力 () kN 図示による
 ・ せん断耐力 () kN 図示による
 アンカーの種類 ※90°回転打撃式
 接着剤の品質 有機系 無機系
 アンカーの径及び埋込み長さ 図示による
 アンカーの種類
 アンカーの新設壁内への定着の長さ 図示による
 ・ 性能確認試験
 試験方法及び試験数 図示による

穿孔 埋込み配管等の探査方法 (8.12.14)

鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
 はつり出しによる

施工確認試験 (8.12.7)

試験方法
 ※引張試験機による引張試験
 確認強度 図示による

21 柱底均しモルタル及びグラウト材 (8.2.12)

柱底均しモルタル ※無収縮モルタル
 グラウト材
 無収縮グラウト材の材質等
 混和材 セメント系(酸化セメント及びポルチランドセメント等)によって膨張する性質を利用するものとする。
 セメント JIS R 5210「ポルチランドセメント」に適合した普通または早強ポルチランドセメントとする。
 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法	コンスタンス
J-0による下落時間	練混ぜ完了から3分以内の値：8±2秒
練混ぜ2時間後のブリージング率：2.0%以下	
凝固時間	凝固開始時間：1時間以上 最終時間：10時間以内
無収縮性	材齢 7日 収縮しない
圧縮強度	材齢 3日 20.0N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0N/mm ² 以上
塩化物量	0.30kg/m ³ 以下
試験方法	1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 フレックシブルと現場調合形で混和材が同一の場合の試験はフレックシブルのみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物(%)濃度試験方法」による。

22 連続繊維シート (8.2.13) (8.24.6)

連続繊維の材料
 ・ 炭素繊維
 ・ アラミ繊維

引張強度(含浸硬化後)
 ・ () N/mm²
 ヤウ係数(含浸硬化後)
 ・ () N/mm²

下地処理
 ・ ひび割れ部改修
 範囲 図示による ()
 工法の種類
 ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ 図示による ()

連続繊維補強材の強度試験
 ・ 引張強度試験
 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シート)の引張試験方法)による
 試験数量 図示による ()
 ・ 付着強度試験
 ※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による
 試験数量 図示による ()

23 仕上げ (8.24.7)

補強工事後の仕上げ
 図示による ()

24 耐震スリット的方式、幅及び深さ (8.25.2)

方式 完全 部分
 幅及び深さ 図示による ()
 設置箇所 図示による ()

25 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 (8.12.4)

部分撤去部の埋込み配管等の探査方法
 ・ 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
 ・ はつり出しによる

26 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.25.2)

耐火材
 ・ 使用箇所及び仕様 図示による ()
 遮音材
 ・ 使用箇所及び仕様 図示による ()
 撤去部の補修
 ※撤去材と同一材で補修

27 埋戻し及び盛土 (8.28.3)

材料及び工法
 ・ 材料 () 工法 ()
 ※改修標準仕様書8.28.11による
 ・ A種 適用場所 ()
 ・ B種 適用場所 ()
 ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 ()
 ・ D種 適用場所 ()
 (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)

28 杭地業 (8.2.15) (8.28.4) [4.3.8]

支持層の位置及び土質(基礎ぐい先端位置含む) 図示による ()
 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 図示による ()
 ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 図示による ()
 ・ 杭の継手の個数、材料、工法等 図示による ()
 ・ 杭の溶接接合
 技術資格者の技量 図示による ()
 溶接部の確認 図示による ()
 ・ 杭頭の処理
 ・ 処理しない
 ・ 処理する
 処理方法(切断にともなう補強方法含む)
 図示による ()
 ・ 杭頭の中詰め材料
 ・ 基礎のコンクリートと同調のもの
 杭の精度
 水平方法の位置ずれ
 ・ 杭径の1/4かつ100mm以下
 ・ 評定等の評価内容による
 建て込み時の杭の鉛直度
 ・ 1/100以内
 ・ 評定等の評価内容による
 記録する施工状況等
 図示による ()

29 砂利地業 (8.2.15) (8.28.4)

材料[G]
 ・ 再生クワック
 ・ 切込砂利又は切込砕石
 砂利厚さ ※60mm

30 捨てコンクリート地業 (8.2.15) (8.28.4)

捨てコンクリートの厚さ ※50mm
 コンクリートの種類 ※普通コンクリート
 設計基準強度 ※18N/mm²
 スラップ ※15cm又は18cm

9章 その他

1 残土処理について
 建設発生土処分については沼津市指定処分とする。
 処分受け入れ業者については下記業者・静岡県建設発生土処理施設一覧より選定し、施工計画書に明記すること。また、工事完了後に受入業者が交付する「建設発生土に関する完了届」を完成書類に添付し提出すること。
 なお、公共事業における残土の工事間流用等疑義が生じた場合、別途監督職員と協議するものとする。

建設発生土受入業者	処理場所
駿河開発株式会社	田方郡函南町軽井沢213
株式会社東土建	沼津市足高字尾上241-460・241-461
日建建設株式会社	沼津市島谷字宮下190-1 他
渡辺ブルドーザー工事株式会社	富士市大瀬藩沢2027-2 他
株式会社加藤建材	富士市大瀬字昔曾比奈6861

2 提出書類

適用範囲	提出時期
1 現場代理人通知書	工事契約時に提出
2 予定工程表	
3 請負代金内訳書	
4 工事カルテに係る書類	
5 施工体制台帳	決定し提出
6 施工計画書	
7 再生資源利用計画書(計画書)、工程表含む	工事完成時に提出
8 施工承諾書	
9 工事工程月報(予定工程を黒、実施工程を朱書きで記入)	
10 完成届出書	
11 完成写真帳(完成前後を左右にして確認できるよう整理)	
12 請負工事関係書類整備状況調査書	
13 実施工程表(予定工程を黒、実施工程を朱書きで記入)	
14 工事記録簿	
15 材料検査簿	
16 工程写真帳	
17 試験表	
18 諸官庁手続きの写し	毎月月末締め、翌月初め提出
19 再生資源利用計画書(実施書)	
20 産業廃棄物に関する書類(マニフェスト等)	
※原則、マニフェストは電子とする。	
21 完成図	
22 その他の書類	

10章 工事カルテ特記仕様書

工事カルテ特記仕様書
 1 受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(GORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録しなければならない。登録対象は工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。
 なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。
 また、登録後は「登録内容確認書」の写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
 2 契約金額の変更登録は、完成時のみとする。
 3 契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、速やかに契約変更前の工事登録を削除しなければならない。

11章 重要事項



株式会社 竹村設計
 一級建築士事務所登録(10)第2200号
 一級建築士登録第90632号竹村嘉次
 沼津市大瀬町四丁目5番17号
 TEL.(962)0299 FAX.(962)7048

C-1	C-2	C-3	C-4	C-5
SC-1	SC-3	PROPER NO.	SHEET NAME	
R6.06.01改訂		SHEET NAME		

令和6年度 駅前立体駐車場西面外壁他改修工事 設計図
 建築改修工事特記仕様書(9)

DATE R6.11
 SCALE Non Scale

SHEET NO A-10
 全A40葉の内

HEAD	ASSIST HEAD	CHANGE
CHIEF	DRAFT	